

マナーのツボ

食事の誘い 好み聞かれたら



「何が食べたいですか」と聞かれ「何でもいいです」と答えることがあります。出しゃばりだと思われたくない、あるいは遠慮の表れでしようが、相手からすると方向性ぐらいいは示してほしいもの。例えば「あっさりとした和食がいいです」と答えると、店を決めやすくなります。

最悪なのは「何でもいい」と言っておきながら、食べる時になって「実はこれ苦手なんです」というケース。事前に言わないで、後から申し出るのはマナー違反です。申し出るタイミングが後になるほど相手へのダメージが大きくなることを心得ましょう。

では仕事関係の人から食事に誘われたとき、どう答えるのがいいのでしょうか

苦手な物 事前に申し出る

か。まずは「ありがとうございます」とお礼を述べます。その後「どのようなお店ですか」などと聞いてみましょう。

その店が万が一、嫌いな食べ物を出すお店だった場合は、早く申し出なくてはなりません。「取りあえず同席して食べられるものを申し出てもらおう」という考え方もありますが、誘った側は「事前に言ってくれたら」と残念に思っはす。「ありがとう」と言います。実は私、生魚が苦手です。せっかくのお誘いですが遠慮致します。次回はぜひ一緒にしたいと思います」の方がよほどスマートです。

ちなみに「嫌いです」より「苦手です」の方がソフトな印象を与えます。やむを得ずお断りする場合は、早めのタイミングでソフトに切り出すことが良い人間関係を維持するコツです。

(ビジネスマナー講師

美月 あきこ)